

スキー移動教室を終えて

1/24(金)～1/26(日)の間、学年行事のスキー移動教室がありました。二泊三日の宿泊行事を経て、生徒たちの仲が深まったとともに集団で協力して作業を進める姿や転んでも何度も挑戦しようとする姿を見ることができました。

スキー教室を終えて生徒に書いてもらった作文を一部紹介します。

僕は、今までの人生でスキーなどのウィンタースポーツの経験がなく、触れることもほとんどなかった。だからこそ、今回のスキー教室はとても楽しみだった。

一日目はハの字で止まる練習をした。最初は上手くできず、止まれなくて同じ実習班の人とぶつかったりした。でも一日目のおわりの方にはインストラクターさんのおかげで少し上手く止まれるようになった。二日目の午前中の実習では、ハの字で止まる練習を少ししてから林間コースを滑った。初めて乗ったリフトは高くて怖かったが、だんだん慣れていった。しかし、何回乗っても途中でリフトが止まるのは怖かった。ハの字の練習では止まれるようになったが、林間コースになると上手く止まれないことが多く、とても悔しかった。上手く止まったり曲がったりできずに何回も転んだ。しかし、午後にはインストラクターさんの指導のおかげで、林間コースも滑れるようになった。ゲレンデには二日目の午後と三日目に滑った。最初は少し怖かったけど案外すぐに慣れ、滑るのがとても楽しかった。

スキーが初めてだったので、楽しみな気持ちと少し不安な気持ちがあったが、三日目にはもっと滑りたいという気持ちでいっぱいだった。またいつかスキーを滑りたい。

2年A組 平山遼



私は、今回のスキー教室で大切なことを3つ学びました。まず1つ目は、何事も難しいことでも取り組む姿勢です。今回のスキー講習で私は、「ハの字で止まる」という壁にぶつかりました。足はハの字にしているはずなのに、止まることができず、ずっと進んで行ってしまいます。何回やってもうまくいかないの、私はスキーができないんだと正直諦めていました。ですが、そんな暗い気持ちで貴重なスキー講習を受けても何を得られるんだろうと思い、私はできなくても取り組んでみることにしました。すると、だんだんハの字で止まれるようになりました。初めて止まれた時はとても嬉しかったです。ハの字でうまく止まれるようになり2日目や最終日には林間コースを1人で滑ることができるまでになりました。ここから私は、できなくても取り組む姿勢を持つことの大切さを学びました。

次に2つ目は、時間を見て行動することです。これは当たり前のことですが、今回のスキー教室を通してとても大切なことだと改めて感じました。今回のスキー教室では、一年生の時に行ったイングリッシュキャンプに比べ、時間に余裕を持って行動できたと思います。ですが、係の仕事に少し遅れてしまったり、準備が間に合わなかったりと時間にルーズだということを改めて感じました。だからこそ、3年の修学旅行では時間を見て5分前行動を大切にしたいと思いました。

最後に3つ目は、当たり前を当たり前だと思わないことです。今回のスキー教室は、学校の先生や親だけでなく、インストラクターさんやベルデの方々、バスの運転手さんなどたくさんの方々に支えられて行うことができました。

2年B組 清水結葵

【2月の予定】

10(月) 中央委員会

11(火) 建国記念日

12(水) 校内研修

(部活動再登校 16:00)

17(月) 生徒朝会

18(火) 避難訓練

戦争体験者による講演会

19(水) 職員会議

(部活動再登校 16:00)

24(月) 天皇誕生日振替休日

25(火) 学年末考査①(音・技家・英)

26(水) 学年末考査②(保体・理・社)

27(木) 学年末考査③(美・数・国)